

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月23日（金）

事務事業		シティセールス推進事業		担当課	協働推進課	担当係	シティセールス推進係	管理番号	10211	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市シティプロモーション戦略プラン				
	小項目	1	移住定住の推進							
	主要プロジェクト	1、3	浜沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト、「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進							
事業概要		市のイメージアップ及び知名度向上、市民の郷土愛の醸成等を図り、市のブランドイメージを確立させるため、市内にある地域資源等を活用し、市内外に向けて市の魅力を情報発信するものである。								
目的 ※何のために		活発で持続可能な魅力あるまちづくり								
対象 ※誰・何を対象に		市民、本市に関わる人たち								
手段 ※どのように		シティプロモーションの基本的な計画の策定及び進行管理を行う。 戦略的にメディア等を活用し、市の魅力を効果的に露出させる。								
成果 ※何を求めるか		市内外に市の魅力を認知させるとともに、シビックプライドを醸成させる。 市民や企業団体と一体となって市の情報発信を行うことができる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	シティセールス推進事業	7,937,597
本事業の 主な業務		・シティセールスに係る総合調整							・	
		・シティプロモーション戦略プランの策定及び進行管理							・	
		・メディア等を活用した情報発信							・	
		・浜沢栄一のふるさと深谷PR							・	
		・移住定住に関する情報発信							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		戦略プラン進行管理、PRサポート、移住定住情報発信、ねぎらいの日PR、あるあるロゴ普及	戦略プラン進行管理、PRサポート、栄一PR、移住定住情報発信、ねぎらいの日PR、あるあるロゴ普及	戦略プラン進行管理、PRサポート、栄一PR、移住定住情報発信、ねぎらいの日PR、あるあるロゴ普及			
事業費	予算（現額）	4,929,000	8,365,000	7,736,000	6,284,000		
	決算額	4,737,152	7,937,597	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	7,000	0	10,000	20,000	
		一般財源	4,730,152	7,937,597	7,726,000	6,264,000	
人件費	従事職員数（人）	2.10	2.10	2.10	2.10		
	人件費相当試算※	16,300,022	16,526,070	17,212,413	17,212,413		
総事業費試算		21,037,174	24,463,667	24,948,413	23,496,413		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	メディア戦略として情報発信を行った回数	目標値	回		153.00	155.00	157.00	159.00	161.00	
		実績値		151.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和 4 年度実績値より設定 / 市がプレスリリースした件数（単年度）						
	実績値の算出式									
成果指標 1	メディア戦略により深谷市が露出した回数	目標値	回	50.00						
		実績値		210.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和 4 年度実績値より設定 / 市でリリースした内容が新聞掲載された件数（単年度）						
	実績値の算出式									
成果指標 2	深谷市にずっと住み続けたいと答えた市民の割合	目標値	%	70.00	67.60	69.10	70.60	72.10	73.60	
		実績値		68.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			第 2 次総合計画後期基本計画の主要プロジェクトの目標値より設定 / 深谷市民まちづくりアンケート						
	実績値の算出式									
成果指標 3	深谷ねぎらいの日の市内協力事業者数	目標値	件	20.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	
		実績値		61.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成 3 0 年度に開始した「深谷ねぎらいの日」の初年度実績を維持する目標値として設定 / 実績値（単年度）						
	実績値の算出式									
成果指標 4	移住定住に関する情報発信	目標値	件		7,600.00	11,700.00	16,000.00	20,500.00	25,200.00	
		実績値		4,638.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			第 2 次総合計画後期基本計画主要プロジェクトの目標値として設定 / 移住定住特集ページへの累計アクセス数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	前年度実績に及ばないものの、コロナ禍という状況下にもかかわらず、情報発信することができた。特に、新紙幣決定に伴い注目を集める渋沢栄一関連の情報を効果的に発信した。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	深谷市にずっと住みたいと答えた市民の割合が目標値に及ばないものの、68%と高い割合を得た。 移住定住に関する情報発信については、移住定住特集ページの更新だけでなく、移住BOOKや暮らしの支援策を一覧表にまとめ配布するなど積極的に取り組んでいる。	
			評価者	シティセールス推進係長 里見篤司

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	シティプロモーション、シティセールス、魅力発信など具体的な内容が把握しづらい事業であるが、実施方針を定める外部識者会議と具体的な取組について協議・実行する庁内会議により、効率的に執行されている。	
			評価者	シティセールス推進係長 里見篤司

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	現シティプロモーション戦略プラン（H30～R4）が最終年度を迎え、次期戦略プランの策定を行う。これまでの結果を踏まえ、さらに未来を見据えた計画とするため、シティプロモーションの全体的な見直しを行う。
達成状況及び その効果	外部識者との意見聴取を経て、従来のシティプロモーション戦略プラン（H30～R4）を踏襲し、今後を見据えた新たなシティプロモーション戦略プラン（R5～R9）を策定することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	シティセールス推進事業	担当課	協働推進課	担当係	シティセールス推進係	管理番号	10211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>本市のシティプロモーションの指針となる新たなシティプロモーション戦略プランを策定することができた。今年度から重点的に実施してきた渋沢栄一のふるさとPRや令和5年度からの移住定住支援の本格稼働など積極的に推進することを見据えて継続実施とした。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	協働推進課長 笠原毅				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	新たなシティプロモーション戦略プランに基づきシビックプライドの醸成、市民協働の推進、効果的なPR活動を進める。 移住定住支援情報を積極的に情報発信する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	市内外に効果的に情報発信できるよう発信方法を調査・研究する。 移住定住に関する情報を充実させる。

8. 評価指標グラフ

